

平成27年度「学校・地域パートナーシップ事業」取組の概要

市町村名	学校名等
宇陀市	宇陀市立榛原西小学校

1 基本コンセプト（取組のねらいや考え方など）

本校校区は自然豊かな地域で保護者の学校教育に対する関心も高い。本校における学校・地域パートナーシップ事業は「つながろう西小コミュニティ」をテーマに、本校地域・保護者の皆様の協力を得て、子どもたちが地域の自然や人々と関わりながら、「環境・健康・文化・労働・人権」を基本コンセプトに、子どもたちがたくましく豊かな学びができる環境づくりを、学校と地域が協働して整え推進していくことをねらいとしている。

2 取組の概要

本校の学校・地域パートナーシップ事業の取組の一つとして、地域在住で農業に従事している方のご指導をいただいた「カモ米作り」体験に取り組んだ。校区内の田の所有者の方とアイガモを貸して下さる方のご協力とご指導のもと、5年生の子どもたちが田植えやカモの世話をし、秋には稲刈りや脱穀の体験をし、できたお米を調理しての感謝パーティーを行った。



<カモ米作り体験>

<読み聞かせ>

<チャンクの発表>

ほかにも、各学期及び夏休みの登校日に地域のボランティアの方々に来ていただいた読み聞かせとブックトークを実施した。子どもたちが本の世界を豊かに体験することができ、様々な本も紹介して頂き、子どもたちの読書への関心を高めることができた。

また、放課後「みんなの広場」では、男寺党日本支部を招き（今年度で12年目）、チャンクの演奏などを通して国際理解や交流を深めた。特に今年度は、11月に男寺党の特別講演を本校で開催し、本物の韓国伝統芸能を広く地域の皆さんと鑑賞した。榛原西小学校のなかま集会では、子どもたちがチャンクの演奏を発表した。このほか、異文化体験学習のひとつとして、韓国料理のチヂミ作りも行った。今では日本でもポピュラーな料理で、子どもたちは楽しく交流し学習することができた。